

秋田県校友会第31回同窓生の集い

平成19年7月14日（土）秋田市の秋田ビューホテルにおいて、「第31回同窓生の集い」が大学本部から福山正文先生にご出席いただき、県内同窓生20名が参加して開催された。

総会は佐藤林治会長（S41年卒）のあいさつに始まり、平成18年度会務報告及び決算報告、平成19年度事業計画及び収支予算案について審議され、満場一致で原案どおり承認された。

研修会では、今年度博士号の称号を取得した県秋田地域振興局福祉環境部の原田誠三郎副会長（S45年卒）の「秋田県におけるノロウイルスおよびインフルエンザウイルス感染症に関する疫学的検討」について記念講演があった。

講話では、福山先生から大学の近況や同窓会の現況について詳細なお話をいただき、大学の資料を見ながら施設・設備の充実ぶりに参加者一同驚いていた様子であった。

懇親会では鈴木敏規副会長（S46年卒）の乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中で学生時代の昔話に花を咲かせ、同窓会の活性化や将来展望についてと話が弾んだ。最後に短大、大学ともに卒業している工藤助廣幹事（S51年卒）の中締めで来年度の再会を期し懇親会が終了した。

お忙しい中、また台風接近中にもかかわらずご出席いただいた福山正文先生に感謝申し上げますとともに、同窓会の益々の発展を祈念し報告とします。

（事務局： 蒔苗 修 S54年卒）





(左上) 福山先生講話

(右上) 原田会員講演

(左下) 講話、研修会風景